

第4期高砂市地域福祉計画のフレーム（案）に対する意見と市の考え方

	意見等	市の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> ・再犯防止推進に向けた取り組みを入れていただきたい。 ・市民に更生保護を理解してもらいたい。 ・保護司活動を円滑に進められるようにしてほしい。 (1)更生保護サポートセンターの支援 (2)市内に対象者との面接場所の確保 公民館等無償で使用出来る等 (3)刑務所出所者の居場所と就労支援 (4)行政、特に福祉部関係の既存のネットワークに 「再犯防止に関する支援体制の構築」を入れてもらいたい。 関係団体との会議を持つことによって、保護司会だけでは出来ない事があるのでお願いしたい。	第2回策定委員会【資料2】のとおり、再犯防止推進計画を策定しています。いただいたご意見は課題と捉え、計画を推進していきます。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手に関する項目が基本目標に追加された件 20年以上前は助け合い精神を持った人が多く存在し色々な場で活動していたが今はそういった人が少なくなったように感じます。近所でさえ希薄な関係となり助け合うことも少なくなったように思えてなりません。自治会役員で福祉委員として研修を受けるなどの機会があったとしても任期満了すればあらゆる事から解放されたかのように何もなくなってしまうのが現状です。このような中、次世代の担い手を見つけ出すこと、育てることは非常に困難なことだと思いますがここに力を注ぎ込み地域や福祉活動に参画する市民が増加するよう取り組んで頂きたいと思えます。ターゲットとする世代、性別、職業など様々な問題もあります。なかにはボランティア活動や役をするのはお断りという人もいますが市民の中には福祉に興味を持つ人、声がかかれば参加してみたいと思っている人が潜んでいると思われまますのでこのような考えを持つ人の掘り起こしや活躍できる場の提供を是非とも行なって頂きたいと思えます。それに加え既存の担い手への支援も大切な事ですので怠らないよう願います。	いただいたご意見をもとに担い手づくりに着目し、基本目標3「地域福祉を進める意識と担い手づくり」を設定し、取り組んでいきます。近年の地域のつながりの希薄化や新たな担い手不足といった課題は、喫緊に取り組むべき課題と認識しています。
3	基本目標とフレームイメージ（案）について	第2回策定委員会【資料1】のとおり修正しました。
	共通して取り組むべき事項等の明記について	国の市町村地域福祉計画策定のガイドラインに沿い、作成を進めています。
	フレームイメージ（案）の3ページの1)②の文中、「福祉推進委員」とあるのを「福祉委員」に修正してほしい。	計画本文中においても、「福祉委員」と表記します。
	フレームイメージ（案）の2ページの3. 施策体系表中、1の2)の箇所、★印を入れる。（重点的な取り組みとして示されているため）	重点的な施策には記入します。
4	ボランティア活動の現状について	基本目標1 1)「市民主体の地域活動・福祉活動の活性化」、基本目標3 2)「既存の担い手への支援」のとおり、ボランティアによる地域活動を支援し、また、担い手が活動しやすい環境づくりに取り組みます。